



福山北ロータリークラブ週報

RI会長メッセージ 持続可能なインパクトを生み出そう

会 長 奥野 一成 副 会 長 (会長エレクト) 和田 明久
幹 事 荻谷 友之 会 計 (副幹事) 鈴木 晴美 S. A. A. 小野 隆平

事務局：福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル

TEL：084-927-3980 FAX：084-927-3985

福山北RCホームページアドレス：<http://www.fukuyamanorth-rc.jp>

★点 鐘 会 長 奥野 一成

★司 会 副会長 和田 明久

★ソング “君が代・奉仕の理想”

★ゲ ス ト

*国際ロータリー第2710地区

ガバナー 脇 和也 様 (宇部 RC)

ガバナー随幹事 神谷 晃 様 (宇部 RC)

G11 ガバナー補佐 下平 靖孝 様 (福山西 RC)

G11 ガバナー補佐幹事 瀬尾 義裕 様 (福山西 RC)



★会長挨拶



本日は、国際ロータリー第2710地区・脇和也ガバナー、随幹事・神谷晃様、G11 ガバナー補佐・下平靖孝様、補佐幹事・瀬尾義裕様をお迎えいたしました。脇ガバナーは、抽象的ではなく具体的で率直にご意見を述べられる方（以前は記者をされていたとのこと）で、本日も率直なお話をいただきました。午後のクラブフォーラムにも、ぜひ多くの会員のご参加をお願いいたします。

本日は熊本地震災害支援金募金の最終日です。まだご協力いただいていない方は、どうぞよろしくお願いいたします。

私事ですが、入会式で「1年続くかどうか」と申し上げてから、気づけば14年が経ちました。ここまで続けてこられたのは、素晴らしい先輩方の生き様に学ばせていただいたおかげと感じております。入会歴の浅い方も、ぜひクラブフォーラムに出て、ロータリーそのものについて質問していただければと思います。

★北星会優勝賞品伝達式

優勝 坂本有康 さん 前会長 池田敏明さんより
オーダーメイドのゴルフジャケット エンブレム付き



★本年度の会長杯 披露



★ロータリー財団より感謝状 ベネファクター 奥野一成さん



★米山記念奨学会より感謝状

- *第4回 米山功労者マルチプル 藤井行夫さん
- *第3回 米山功労者マルチプル 荻谷友之さん



★幹事報告

【例会変更】

- *福山北 RC…9月11日(金) → 9月10日(木) 19:00～
福山ニューキャッスルホテル ビアホール
親睦家族夜間例会
…9月25日(金) → 9月13日(日) 9:00～15:00
田島漁港内浮島及び田島漁協屋内施設
アマモ種子選別・保管作業
- *福山西 RC…9月1日(火) → 4日(金) 19:00～
福山ニューキャッスルホテル ビアホール
納涼夜間例会
…9月22日(火) 休会 法定休日(国民の休日)
- *福山丸之内 RC…9月21日(月)休会 法定休日(敬老の日)

…9月28日(月)→26日(土)15:30～18:45
福山ニューキャッスルホテル 光耀の間
創立30周年記念例会

- *福山 RC…9月21日(月) 休会 法定休日(敬老の日)
…9月28日(月)→同日18:00～
福山ニューキャッスルホテル 観月夜間例会
- *福山南 RC…9月10日(木)→同日18:30～
福山ニューキャッスルホテル 先達を敬う会夜間例会
…9月17日(木) 休会 定款第7条第1節
…9月24日(木) 休会 定款第7条第1節
- *福山東 RC…9月16日(水)休会 クラブ細則第5条第2節
…9月23日(水) 休会 法定休日(秋分の日)
…9月2日(水)→同日12:30～13:30
大和建設株式会社 職場例会開催
…9月30日(水)→同日18:30～20:30
福山城(詳細未定) 月見夜間例会開催

【連絡事項】

- *米山記念奨学会よりハイライトよねやま 317号
- *福山ロータリーEクラブ2710よりリングブル収集ご協力
のお願い
- *福山西 RCより G10・G11合同親睦ゴルフ大会のご案内

★出席報告

- 第2583回
会員総数 29名 出席者数23名 出席率 82.14%
欠席者 濱本さん・平山さん・池田さん・近藤さん・中島さん
- 第2581回 出席修正 同出席 78.57% 修正後 89.29%

★スマイル委員会

- 誕生日祝 和田明久さん (8/21)



★スマイルボックス

- ガバナー・随行幹事さんから大きくいただきました。
- ガバナー補佐・補佐幹事さんから大きくいただきました。
- 遅まきながらラインをはじめました。
取扱いがよくわかりませんので、失礼あるかも。
悪しからずよろしく。 …山本誠宏さん
- お盆に孫が9人揃いました。まるで嵐か来たみたいでした。
つかれだけが残ります。 年なんのでしょうか？
…大福浩文さん

★プログラム

ガバナー卓話 脇 和也 様



脇ガバナーより、「不易流行」を軸に卓話をいただきました。冒頭、ロータリー創始者ポール・ハリスの「世界は常に変化しており、ロータリーの物語は何度も書き換えられなければならない」という言葉を引かれ、これこそロータリーが121年、世界200以上の国・地域で会員を擁する一大社会奉仕団体へと成長した秘訣であると述べられました。

【不易=変えてはならないもの】として、「社会奉仕に関する1923年の声明」(旧・決議23-34、アーサー・シェルドンが提案)を挙げられました。「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」というロータリーの理念です。一時は欧米で削除の動きもありましたが、日本のロータリアンが先頭に立って保全に努め、2010年に価値あるものとして残されました。ガバナーは、これが日本人のビジネスの精神——渋沢栄一の「忠恕」、ヤマト運輸・小倉昌男氏の「サービスが先、利益は後(先義後利)」——と深く重なりと語られました。



【流行=時代に応じた変化】として、2002年以降の戦略計画の立案、2010年の中核的価値観(親睦・奉仕・多様性・高潔性・リーダーシップ)、2013年の未来の夢計画と地区補助金、2017年のビジョン声明、そして2025年からの複数年度制への移行を挙げられました。本年度のRI会長バビロラ氏のテーマ「Create Lasting Impact(持続可能なインパクト=人々の心に響く良い変化を生み出そう)」、地区方針「和と絆〜With One Heart〜(心一つに)」も、この流れの中にあります。

RI会長の3つの重点目標も紹介されました。①エンドポリオ——1979年フィリピンでの活動以来、撲滅まであと一歩ですが、現在もパキスタン・アフガニスタンで野生株の感染者が確認されており、天然痘に続く2例目の撲滅を必ず成し遂げたいとのことです。



ポール ハリス
「世界は常に変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。
ロータリーの物語は何度も何度も書き換えられなければなりません」

②平和フェローの育成——世界7か国の大学に平和センターを設置(日本は国際基督教大学)。財団への寄付がフェローの渡航・滞在費を賄い、間接的に世界の平和に貢献しています。国連軍縮担当トップの中満泉さん、故・緒方貞子さんもロータリー財団の奨学生でした。

③会員増強——2030年の125周年に向け、世界で125万人を目標とし、各クラブは過去5〜7年で最高の会員数を目指します。当地区は2019年の3290人が最高で現在3040人、あと250人を4年間で増やす計算になります。

「不易流行」

社会奉仕に関する1923年の声明

「ロータリーは基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

この哲学は『超我の奉仕』の哲学であり 『最もよく奉仕するもの 最もよく報われる』という実践倫理に基づくものである」

会員増強の具体策として「戦略的オープン例会」を推奨されました。昨年度は地区内46クラブが実施して255名のゲストを迎え、3割以上が入会見込みとなったとのこと。本年度はゲスト1名あたりの補助を2,000円→3,000円(上限10名・3万円)に増額されます。増強と退会防止は「車の両輪」であり、入会3年未満の会員に役割を与えて育てることが大切だと述べられました。

最後に、バビロラ会長の「自分を変えればクラブが変わり、クラブが変われば地区が、地区が変われば地域社会が変わる」という言葉を引き、現状に留まらず一歩前に進むことの大切さを説かれ、10月の地区大会への登録も呼びかけられました。

不易流行

2002年度 国際ロータリー戦略計画立案策定
始まる

2010年度 戦略計画発表

※中核的価値観(親睦・奉仕・高潔性・リーダーシップ・多様性)

2013年度 ロータリー財団「夢計画」
DDF(地区補助金) 衛星クラブスタート

2017年度 ビジョン声明の発表

2025年度 単年度制から複数年度制へ移行
国際ロータリー会長のスローガンをメッセージへ変更



「ビジョン声明」

「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、**持続可能な良い変化を生むために (CREATE LASTING IMPACT)** 人々が手を取り合って行動する (**UNITE FOR GOOD**) 世界を目指しています」

「Together, we see a world where People unite and take action (**unite for good**) to create lasting change (**create lasting impact**)- across the globe, in our communities, and in ourselves.」

ガバナー信条



With One Heart

(心一つに)

パバロラRI会長エレクトの三つの重点目標

エンドポリオの遂行

平和フェローの支援強化

会員増強 2030年に125万人



ICU ロータリー平和センター

平和フェローin広島

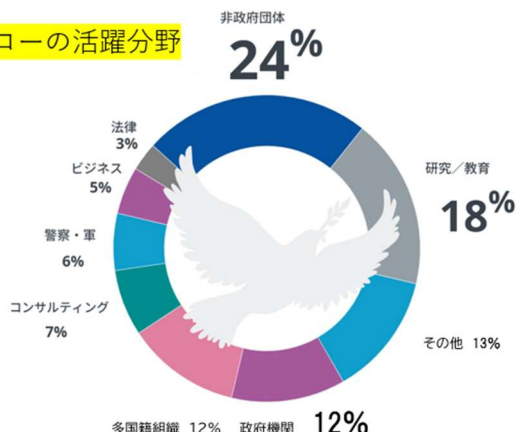
世界七つのセンター

2002年以来1800人が140か国で活動

学生対象の修士号取得プログラム

職業人向け専門能力開発プログラム

平和フェローの活躍分野



世界で活躍するロータリー財団奨学生

中満 泉さん

国連事務次長・軍縮担当上級代表

1963年生まれ。東京都出身
早稲田大卒業後、ロータリー財団奨学生としてジョージタウン大学外交大学院に留学

緒方貞子さん

日本人初の国連難民高等弁務官



今年の広島原爆忌で国連のグレース事務総長のメッセージを代読する中満さん (NHKテレビから)

2710地区の財団奨学生

2025~26年 イギリスとスペインに各男性1人

2026~27年 オランダに男性1人、豪州、米国各女性1人

支援のお願い

<ロータリー財団>

①年次基金 年間で1人150ドル

(昨年度実績 125・52%)

②恒久基金 ベネファクター 1人以上

③ポリオプラス 年間で1人30ドル以上

(昨年度平均寄付額 26・99%)

④PHS

(年間に1,000%以上の寄付の約束)

⑤ロータリーカードの利用

(1万円で30円がポリオに自動的に寄付)

<米山記念奨学金>

年間で1人16,000円以上

(昨年度地区平均寄付額 12,693円 地区総額3,980万円)

最新のRI会長メッセージ

「共に未来を見据えて」

～会員基盤を成長させる～

「持続可能なインパクトを生み出すロータリーの力は強固で多様な会員基盤に掛かっています。それは単なる数字だけの問題ではありません。

新会員が入会するたびに、新しいアイデアと活力、そして新たな機会がもたらされます。私たちが心から人々を歓迎し、それぞれのストーリーを分かち合えばロータリーの参加者の基盤を広げ、かけがいのない絆を深めることができます。

入会者と接する際には、ロータリーが皆さまの人生をどのように変えたかを、自信をもって伝えてください。



群れの力はオオカミである。

オオカミの力は群れである。

(国際ロータリー第7代会長レスリー・ビジョンの世界大会でのスピーチから)
※出典は英国人作家キップリングの小説「ジャングルの法則」

クラブの力は会員である。
会員の力はクラブである。

パバロラRI会長の方針

「地区とクラブは過去5～7年間で最高の会員数を調べその数を目標とするよう推奨する」

※当地区の過去5～7年間で最高は2019年の3,294人。7月現在3040人(対前年同期比マイナ7人)。254人増強へと地区内各クラブが「毎年1人以上の純増」達成を

オープン例会実施状況

(2025年7月~26年5月)

実施クラブ	46クラブ
参加の入会候補者総数	255名
見込みあり	88名(34.5%)
検討中	119名(46.7%)
見込みなし	48名(18.8%)

オープン例会実施クラブに入会候補者1人当たり1,000円アップの3,000円(上限30,000円/クラブ)を補助

オープン例会を開催して	
会員純増のクラブ	20クラブで計24人
増減なしのクラブ	11クラブ
純減したクラブ	15クラブで計28人

退会防止について

○クラブの元気とは退会者が出ないこと
会員を維持できることがクラブの元気
退会者が出ないクラブは会員増強にも強い

○入会3年未満の会員には役割を与え居場所を提供しクラブ全体で人を育てる意識を大切に

○クラブ上げての増強と退会防止は車の両輪

「**自分**を変えられれば、**クラブ**が変わる。
クラブが変われば、**地区**が変わる。**地区**
が変われば**地域社会**を変えられる。**地域社会**
が変われば世界で、**地域社会**で、**自分**
自身の中で**持続可能なインパクト**を生み出すことができるのです」

「**和と絆**」 With One Heart
地区大会にぜひ参加を

10月23日~25日

みなさん 山口県宇部市へ



★ガバナー公式訪問クラブフォーラ



～クラブフォーラム会長挨拶～ 奥野一成さん



奥野会長より、本年度方針「進化(深化)」のもと、メイクアップの推進、松永 RC・福山西 RC との連携、委員会活動の活性化、こぶしヶ丘学園やインターアクトへの支援を重点に進めたい、との挨拶がありました。

脇ガバナーは「難点を指摘するのではなく、各クラブの自慢や独自の活動をお聞きして他クラブに伝え、地域全体の元気につなげたい」との進行方針を示されました。そのうえで、

当クラブは約 29 名で 50 名規模に匹敵する活動を行っており、中でもアマモ事業は当地区で唯一の環境事業として素晴らしい、と高く評価されました。

会員増強については、平均年齢の上昇と会員数の漸減が最大の課題であり、特効薬はないものの着実に増やしていきたい、との報告がありました。



各委員会からは次の方針が示されました。会員組織・研修＝新入会員が孤独にならないよう研修を全期 2 回。クラブ管理運営＝楽しい例会づくり、SNS・週報のデジタル化、新入会員フォロー。例会運営＝魅力あるプログラムと他クラブとの情報共有、新入会員が末長く続けられる雰囲気づくり。公共イメージ＝受け手を意識した分かりやすい発信と AI 活用。個人情報管理の徹底。

職業奉仕＝9 月 4 日の委員会で職場例会を企画。社会奉仕＝アマモ 3 年目、9 月に種子の選別(英数学館の学生と)、11 月に種まき・バーベキュー、来年 4 月には芦田川・桜並木の剪定。青少年奉仕＝英数学館インターアクト・海洋少年団・こぶし丘学園を支援。国際奉仕＝南ソウル RC との姉妹交流(子・孫の相互受け入れ)の再開と、来年の同 RC70 周年に向けた 11 月の訪問調整。米山・財団＝地区補助金の申請と各支援へのご協力。戦略計画＝若手会員も加え、ファミリー会員や衛星クラブ(2 クラブ所属可)も検討。

ガバナーからは、ベテランと新入会員を混ぜて若手に経験を積ませること、会員増強は特定の委員会ではなくクラブ全員で取り組むこと、戦略的オープン例会は年度初めに日程を周知し、正式な招待状を出し、最高の卓話を用意して全員でおもてなしし、しつこいほどフォローすることが成功の鍵である、との助言がありました(高崎 RC が 60 名→160 名に増やした事例も紹介)。

質疑応答では、①地区補助金の成果報告は現在数値は不要で文章でよいこと、②米山奨学生は同一国が 3 割を超え

ないようバランスをとっていること、③ハラスメントは極めて厳格で、問題を隠せば 72 時間以内に認証取消の恐れがあること、④入会承認や理事会のあり方はクラブで議論すべき事項であること、⑤病気などの休会はクラブ細則で定めればよく、地区としてはできるだけ休会を認める方向を望む、といった回答がありました。

総評として、この規模でこれだけの活動を行っていることを高く評価され、アマモ事業を「地区を代表する事業」として紹介できるよう育ててほしい、と期待を寄せられました。

9/ 4(金)	ロータリー友誌紹介 RLI受講報告 佐藤洋二さん プログラム予定
9/10(木)	納涼家族夜間例会 19:00～ 福山ニューキャッスルホテル ビアホール
9/11(金)	9/10(木)に例会変更
9/13(日)	アマモ種子選別 9:00～15:00 田島漁港内
9/18(金)	クラブ協議会(会員制度)
9/25(金)	9/13(日)に例会変更
10/ 2(金)	ロータリー友誌紹介 新会員卓話 枝廣慶樹さん
10/ 9(金)	例会取消
10/16(金)	企画財政局 福山駅周辺再生推進部長 村上正人様
10/23(金)	10/25(日)に例会変更
10/25(日)	地区大会 in呉
10/30(金)	地区財団委員会 今川忠男さん